

令和4年度

盛岡公務員法律専門学校
自己点検・評価委員会結果報告書

令和5年8月

令和4年度自己点検・評価結果報告について

ここに学校法人龍澤学館盛岡公務員法律専門学校の自己点検・評価結果を公表いたします。

令和5年8月

学校法人龍澤学館
理事長 龍澤 尚孝

1 学校の教育目標

本校は、地域社会の発展に貢献するため、進展を続ける社会情勢に即応できる人材・社会で活躍できる人材の育成を行うことを目的としています。そのため、単に公務員試験や就職試験における筆記（一次）試験突破のための知識を詰め込むのではなく、多くの経験を積むことで豊かな人間性を育み、自ら「気づき」「考え」「行動する」力を養う教育に努めています。

2 令和4年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- ・さまざまな社会の変化に対応できる力を身に付けさせるため、学生たちに不足している「経験値」を増やし、「気づき、考えて、行動できる力」を高めていくよう、インターンシップや実践的な授業を取り入れた指導のさらなる充実を図る。
- ・近年、全体的な基礎学力の低下と学力差の広がりが見られるため、基礎学力強化を目指しながら「一人ひとりに対しわかるまで教える」きめ細かな指導を強化していく。
- ・高校生向けの公務員試験対策講座や公務員模擬試験、進路相談・ガイダンス等で本校が持つ情報や指導力を地域に還元していく。

3 評価項目の達成及び取り組み状況

(1) 教育理念・目標

※適切：4、ほぼ適切3、やや不適切：2、不適切：1

	評価項目	自己点検・評価結果※
1	学校の理念・目的・人材育成像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4
2	学校におけるキャリア教育・職業教育の特色を教職員が共有しているか	4
3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4
5	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4
評価理由	本校は、専門教育を通して地域・社会の発展に寄与する人材を育成することを目的に、社会で必要とされる能力、技術、知識を養成すること、公務員あるいは公共性の高い仕事に携わる人間としての自覚を持ち、建設的な考え方をもちた人間性豊かな社会人の育成を目指している。 近年進んでいる少子化や若者の首都圏流出が激しい状況において、優秀な人材を地元で育成し、地域の未来を担う人材として地元に残って活躍してもらうことも、我々の大切な役割である。 このことは、学校案内や募集要項に掲載して広く周知するとともに、学生に対しても、日々の生活の中でも繰り返し伝え、心の教育を行うよう努めている。	

(2) 学校運営

	評価項目	自己点検・評価結果※
1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4

2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
4	人事、給与に関する規定等は整備されているか	4
5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4
評価理由	年度ごとに、施設環境・教育内容・学生募集・教員研修・地域社会との関連・その他の項目について事業計画を策定し、法人本部と学校が連携しながら運営している。	

(3) 教育活動

	評価項目	自己点検・評価結果※
1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
2	教育理念、育成人材像や業界ニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
6	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	4
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
12	関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	4

13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	4
評価理由	<p>教育理念に沿った教育課程の編成を行っており、教職員間での共有、必要に応じ協議も行っている。教養試験、専門試験の科目の内容は刻々と変化しているため、傾向を捉えながらカリキュラムを編成している。また、社会の変化やニーズに合わせ、筆記試験対策に偏らないカリキュラムを編成し、総合実践授業を含めた実践的な授業の中で、より多くの経験を積めるように工夫をしている。また、各種省庁や、地方自治体、各種企業様のご協力のもとインターンシップを実施した。インターンシップ実施後は、校内での振り返りと受入先からのアンケート結果を活用し、自身に必要とされる能力を自覚し、今後の行動の指針とするよう指導をしている。</p> <p>また職員の能力開発のため、グループ全体で研修する機会を増やし、職員の指導力向上を図っている。</p>	

(4) 学修成果

	評価項目	自己点検・評価結果※
1	就職率の向上が図られているか	4
2	資格取得率の向上が図られているか	3
3	退学率の低減が図られているか	4
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4
評価理由	<p>就職率は毎年高水準で推移している。また就職率の向上はもちろん、学生が第一希望と考えている企業、自治体へ合格、内定できるよう指導していく。そのため、個々の学生と密に向き合うことによりきめ細やかな対応を心掛け、卒業生の活躍の状況を把握することで在校生への指導に生かしていきたい。</p>	

(5) 学生支援

	評価項目	自己点検・評価結果※
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
2	学生相談に関する体制は整備されているか	4
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
4	学生の健康管理を担う体制はあるか	4
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
6	学生の生活環境への支援は行われているか	4
7	保護者と適切に連携しているか	4

8	卒業生への支援体制はあるか	4
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4
評価理由	就職担当とクラス担任が連携して、学生の進路・就職に関する支援を行っている。また日常生活における悩みに関しては、クラス担任だけでなくスクールカウンセラーからカウンセリングを受けられる体制を整えている。保護者との間では日常生活に関する情報の共有だけでなく、進路に関する面談を実施し家庭との連携も図っている。	

(6) 教育環境

	評価項目	自己点検・評価結果※
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
3	防災に対する体制は整備されているか	4
評価理由	校内には、各フロアに自習室を設け、授業時間以外にも自由に使用できるよう開放しており、教務室内にある図書も学生に貸し出しを行っている。また、各教室に固定式プロジェクターを設置し授業等で活用している。避難訓練に関しては毎年実施し、学生の防災に対する意識を高めている。	

(7) 学生の受入れ募集

	評価項目	自己点検・評価結果※
1	学生募集活動は、適正に行われているか	4
2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
3	学納金は妥当なものとなっているか	4
評価理由	開校5年目からは安定して定員数を確保してきたが、近年は民間企業の求人数の増加、少子化の影響、コロナ感染の対応をしている職員の多忙さから公務員離れが進んできた状況もあり、若干入学者数は減少してきている。そのため、仕事の魅力、公務員だからこそのやりがい等の情報発信に取り組んでいる。近年、卒業生の活躍が企業、自治体からの評価にもつながっており、本校の取り組みによる学生の成長を高校に具体的に伝えることで、教育成果にご理解いただくよう努めており共感いただいている。	

(8) 財務

	評価項目	自己点検・評価結果※
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4

2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
3	財務について会計監査が適正に行われているか	4
4	財務情報公開の体制整備はできているか	4
評価理由	法人本部で適正に管理・実行しており、財務情報については、MCLグループのホームページで既に情報公開している。	

(9) 法令等の遵守

	評価項目	自己点検・評価結果※
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
4	自己評価結果を公開しているか	4
評価理由	法令、設置基準等の遵守と適正な運営を行い、自己評価の結果をもとに学校関係者評価委員会を開催し、その結果と合わせてホームページにて公開している。	

(10) 社会貢献・地域貢献

	評価項目	自己点検・評価結果※
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
3	地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4
評価理由	地域のイベントへ参加したりボランティアスタッフとしてお手伝いしたりすることを通じて、社会貢献・地域貢献を行っている。 また高校生に向けて、無料の公務員試験ガイダンスおよび公務員対策講座、模擬試験等の実施を通じて、各地域の人材育成への貢献に努めている。	

4 総合的な自己評価結果と今後の目標

令和4年度重点目標については、一定の成果を上げることができた。学力向上に向けた指導はもちろんのこと、人間力の向上にも力を入れることで学修成果につながっていると感じる。本校が優秀な人材を輩出し続け、社会のニーズに応えていくためにも以下のことに力を入れて取り組んでいきたいと考える。

刻々と変化を続ける社会において社会で求められる人材も変化しており、それに対応できる教育の提

供を行っていく。そのために学校の教育の質を向上していくことが必須であり、教職員の質（知識、指導力、人間性等）の更なる向上に努め、学生が第一希望としている企業、自治体に合格、内定できるよう指導していきたい。

また、学校から地域への情報の発信や、地域や企業・自治体等の外部組織から学校に対する意見・要望等を頂くことで、地域に開かれた存在として、未来の公務員・地域の担い手を地域の皆様と友に育てていける環境づくりに努めていきたい。

そのためにも、学生の声や保護者の声はもちろん、地域住民や企業・自治体等の声を今まで以上に取り入れる仕組みを整備していきたい。また、卒業生の活躍の状況についても詳しく把握することで、在校生に対する指導法や指導内容の充実にも活かしていきたい。

令和4年度

盛岡公務員法律専門学校
学校関係者評価委員会結果報告書

令和4年度学校関係者評価 報告

学校法人龍澤学館 盛岡公務員法律専門学校では、本校規定に基づき、学校関係者評価委員会を令和5年8月21日に開催いたしました。以下に、その内容を報告いたします。

今後は、各委員からの意見や指導等を真摯に受け止め、より良い教育、より良い学校運営を目指し、教職員一同努力して参ります。

引き続き、一層のご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

1. 学校関係者評価委員

氏名	企業・団体名	部署・役職
小野 直人	株式会社北日本銀行	人事部長
金野 淳一	三陸鉄道株式会社	取締役運行本部長
工藤 昌雄	盛岡公務員法律専門学校	校長
柳谷 知宏	盛岡公務員法律専門学校	校長代理
畠山 真司	盛岡公務員法律専門学校	教務課長
玉山 雄也	盛岡公務員法律専門学校	教務主任
藤村 俊記	盛岡公務員法律専門学校	教務

2. 委員会次第

- (1) 開会
- (2) 校長挨拶
- (3) 委員紹介
- (4) 令和4年度学校関係者評価結果について
- (5) 意見交換
- (6) 閉会

2. 討議内容

本校の教育理念・目標について説明を行った後、「専修学校における学校評価ガイドライン」を踏まえて作成した評価項目による自己点検・評価結果について、評価項目ごとに達成状況や取り組み状況、改善対策等について外部委員の皆様と意見交換した。

(1) 教育理念・目標について

地域社会の発展に貢献するため、変化を続ける社会において活躍できる人材の育成という教育理念・目標に沿って適切に運営がすすめられたことが報告された。この教育理念・目標については、学校案内や募集要項に記載するのみならず、学生に対しても、日々の生活の中で繰り返し伝え、心の教育を行うよう努めていることを確認した。

(2) 学校運営について

社会で活躍できる人材の育成という目的の下、ボランティア活動、インターンシップ等多くの経験を積むことで豊かな人間性を育み、自ら「気づき」「考え」「行動する」力を養う教育に努めていることを確認した。このことは事業計画に策定され、事業報告において了承を経ている。

(3) 教育活動について

キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ってカリキュラムや教育の工夫が実施されていることを確認した。被災地研修においては沿岸3地域を訪ね、公務員としての当時の行動やその後の復興についての話を聞き、当事者意識をもって社会問題について考える機会を持つことができたことを報告し、理解を頂いた。真に社会に求められる人材の育成、物事の本質を考えられる人間が育つ教育カリキュラムをこれからも引き続き考えていくことを約束した。

また、社会人になって実際に仕事をすると思い描いていた仕事と現実の仕事のギャップや、人間関係等様々な悩みが出てくるが、その際に心の軸をどこに置くべきか等、心の教育、社会人として生き抜く力を育む教育を実践してもらいたいと委員の方から要望を頂いた。本校においても、実際に仕事をするにあたって必要と思われる心の教育を実施しているが、さらなる教育内容の充実を図ることを約束した。

また、社会の変化とともに教育内容も変化させていくことから、優れた教員の確保が必要となるが、本校の確保の取り組みに理解を頂いた。

(4) 学修成果について

卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているかという点に関して、卒業生が来校する機会に、学生当時にやっておけばよかったことなどアドバイスをしてくれることがあり、それを教職員間で共有し、教育内容の改善に役立てていることを確認した。

(5) 学生支援について

課外活動に対する支援体制として、地域のイベントや各種ボランティア活動など、すべての学生が社会活動に参加しやすい環境を作るよう努めていることを確認した。

(6) 教育環境について

現状では適正に整備できているが、社会の変化に伴って教育も変化していくことから、その変化に対応できる教育環境を整備していくことを確認した。

(7) 学生の受入れ募集について

学生の募集活動について、本校は公務員のみならず、公共性の高い企業への就職に有利な資格取得や知識習得に強みがあることなど各高校への理解を深めていく活動を継続していただきたい旨委員の方から要望を頂いた。本校の資格取得や知識習得についての成果を高校側に余すことなく伝え、公務員のみならず、公共性の高い企業への就職を希望する高校生に向けても情報発信していく旨約束した。

(8) 財務について

既に情報公開されていることや法人本部との連携について確認した。

(9) 法令等の遵守について

「法令、専門学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか」について、法令、設置基準等の遵守と適正な運営を行い、自己評価の結果をもとに学校関係者評価委員会を開催し、その結果と合わせてホームページに公開していることを確認した。

(10) 社会貢献・地域貢献について

学生が地域のイベントへ参加したりボランティアスタッフとしてお手伝いしたりすることを通して、社会貢献、地域貢献をしている。そのような学校外での活動を通して学べることの重要性を学生に実感してもらっている。また、そのような学校外での学びは物事の本質を捉えることにつながり、社会人になってからも役立ってくることを意識させながら今後も続けていくことを確認した。

4 まとめ

社会状況が大きく変化している中において、外部委員の方々から、本校の取り組みについて高く評価いただくとともに、貴重なご意見を頂くことができた。今回の結果は、全教職員にフィードバックし、教育内容のさらなる充実、ひいては地域の発展に貢献できる人材の育成に努めていきたい。

今後とも、盛岡公務員法律専門学校が地域から必要とされる学校となるため、地域貢献活動に積極的に取り組み、また優秀な人材を輩出し続けられるよう教育活動に邁進していきたい。